

井草会報

2016
NO.49

発行 井草会
練馬区上石神井2-2-43
東京都立井草高等学校内

井草再発見！同窓会は宝箱 2015同窓会

昨年の8月22日（土）に池袋ホテルメトロポリタンにて「2015同窓会」が開催されました。当日は、恩師・来賓の方々をはじめ、傘寿の招待学年、古希・還暦・卒業30年の記念学年に今回より新たに卒業20年・10年の若い世代が加わり、総勢500名近くの参加者が集まり、過去最高の参加者数となった前回の総数を塗り替えました！隔年開催10回目を迎え、シニア世代には感慨深く、ミドル世代には活力の再燃の場となり、若い同窓生たちには改めて友情の再確認の場となったようです。

同窓会はかつての交友関係を再認識し、友情は宝であることを再確認する宝の箱と言えるでしょう。会場には、それぞれの世代がなつかしく思い出す曲がBGMとして流れ、高校時代の集合写真や行事写真が大画面にスライドショーで映し出され、鮮やかに



青春の思い出が蘇りました。美味しい料理とお酒、楽しいおしゃべりで時は流れ、最後に全員で校歌を熱唱しました。あちこちで再会を約束し、互いにエールを送り合い、なごやかに会は終了しました。

井草会では、次回の「2017 同窓会」へ向けて『井草の絆 いつまでも』をテーマに今年度も準備を進めていきます。同窓生の皆さまの多数のご参加を心よりお待ちしております！



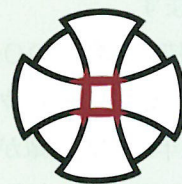
最高齢の高女1回生（米寿）のお二人

【井草豆知識】 ご存知でしたか？ 校章の由来

校章のデザインは、在職32年美術担当の故青山兵吉先生によるものです。

円の中央に「井」の字をおき、その先が八方に伸び外円と交わる場所に八つの変化ができています。「井」は、もちろん井草高校の第一文字で、円に全体・宇宙・世界・国家・社会・平和・悠久等の意味を持たせてあるそうです。また、円と「井」を結ぶ線で協力や全体と個の関係を示し、誇り高く、力強く、誠の心で、清純に、協力して、人類世界の理想を実現していく姿を象徴したという壮大なスケールの意味が込められているのです。井草生なら誰でも、校歌の「世界の前に我等あり、井草高校」という歌詞が、頭に浮かぶことと思います。

井草会は、母校支援の一環として在校生へ卒業の記念に校章を贈ってきましたが、今年度からは新入生へ入学記念に贈ることになりました。井草生として第一歩を踏み出した新入生たちが、常に校章を身につけて充実した高校生活を送ってくれることを願っています！



目次

2015 同窓会報告・校章の由来	1	フレッシュ卒業生の紹介	10・11
新会長・新校長先生の挨拶	2	広報委員会委員長インタビュー	12
同期会・クラス会・OB/OG 会報告	3・4・5	クラブ活動めぐり	13
OB/OG インタビュー	6・7	アンケート結果の報告	14
恩師からの便り	8	幹事総会報告・予算決算	15
キャンパスニュース	9	井草会掲示板	16

平成28年度幹事総会における役員・理事改選により、平成22年から3期6年間会長職を務めた月岡健一会長が退任し、植木謙新会長が就任いたしました。また、学校も宮本信之校長先生が転出され、有明得良人校長先生が着任されました。「井草会」は、これからも同窓会活動の更なる充実を図り、学校やPTAとの連携をより深めて、母校の発展に協力していきます。



新会長挨拶

植木 謙

(21回D組 昭和44年卒)

平成28年度の定時幹事総会において、会長に選任され就任いたしました。

井草高校75年の歴史と伝統のさらなる発展を目指し、同窓会役員並びに会員の皆様と協力して同窓会運営をしていきたいと思ひます。

井草会では2年に1回記念同窓会を開催しています。この集いも、昨年の「2015同窓会」で10回目を迎えました。この記念学年方式は、同期の横のつながりを中心に各記念学年が一堂に会することを目的として実施してきました。

しかし、高校3年間だけでは在学中に顔を合わせる先輩、後輩に限りがあるため、横のつながりに比べると縦のつながりを広げにくいという課題がありました。そこで、今後の集いでは縦のつながりを深めるために、クラブ活動や生徒会活動などを通じた交友関係に積極的に声掛けをしていきたいと考えています。

特に運動部のOB・OG会は比較的長く続いていて、伝統のあるクラブの集まりでは、卒業後30～40年以上の先輩がいる例も珍しくありません。こうした縦のつながりを同窓会の集いに活かしていければ、縦と横のつながりの緊密化により同窓生の輪が広がり、井草の絆はさらに深まることと思ひます。

同窓生の方々が、ますます縦と横の絆を深めていけるように、同窓会活動の発展に力を尽くしたいと思ひます。会員並びに将来の同窓生となられる在校生の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



『井草会』の発展を祈念して

井草高等学校

校長 有明 得良人

平成28年4月1日に校長として着任しました。前任校は葛西工業高校です。保健体育科の教員で実技の専門はバレーボールです。思えば、都立赤城台高校を卒業して何と40年の歳月が流れてしまいました。都立荒川工業に初任として着任後、足立西・竹早・葛西南・北野を経て、副校長3校、飛鳥・練馬工業・青山、校長として葛西工業を経て本校に着任しました。あと2年で定年退職となる60歳を迎えます。

4月1日に井草高校に来たとき、多くの生徒が体育祭の応援練習のため所狭しと活動しており、見ず知らずの私に「おはようございます」「こんにちは」と明るく声をかけてくれました。30人程度退学者を出していた学校を3年かけて9人まで引き下げ、あと2年葛西工業高校で仕事を続け、退学者ゼロの日を現認できることを目標としていた私は、なぜ異動になってしまったかと残念な思いでいっぱいでした。しかし、井草高校の生徒たちの振る舞いにより、この井草高校で全ての生徒の自己実現を可能にさせたいと強く思うようになりました。

着任した日に井草会の月岡会長が来校され、同窓会から新入生に校歌のCDと校章をプレゼントしてくれるとお話があり、井草高校への思いが大変強いことがわかりました。学校としては、その熱い思いを受け、進んで校章をつけたいと思う生徒、いつでもどこでも自信と誇りを持って校歌を歌える生徒に育てなければならないと、改めて責任の重さを痛感しました。

同窓会の皆様に支えられ、先輩諸氏の創られた良き伝統を受け継ぎ、より良い井草高校に成長させるため、全力を尽くしたいと思います。

2015年度 同期会・クラス会・OB/OG会報告

紙面の都合により一部原文を短く編集しています



高女1回同期会 2015年4月21日 新宿中村屋

昭和44年に始められ、2年に1度開催してきた井草高女1回生の会も第23回を迎え、今回は「米寿前祝」と称して開催しました。出席者の皆様は若々しく元気で、華やいていました。乾杯に始まり近況を語り合いながら、楽しい会食は続きました。詩吟「長寿を賀す」も力強く胸に響きました。蛍の光を歌い、記念撮影を済ませて、全員で「今日の日ばさようなら、また会う日まで」を声高らかに歌い、紅白の祝果をお土産に「1回生の会」は幕を閉じたのでした。(3組 佐藤治子)



同期会

高校17回同期会 2015年8月22日 銀座ライオン池袋西口店

2015同窓会後に二次会として開催した8年ぶりの同期会。高校卒業以来、初めて参加する人も多く、「えーえっと誰だっけ?」「△△君だわ」でも、50年経っても覚えているものだとみんな感心。クラスごとに集まった輪が、いつの間にかバラバラになりあちこちでクラスを越えて、昔の懐かしい話に大盛り上がり。今日来られなかった人や既に鬼籍に入ってしまった人の話まで、話は尽きぬうちに三本締めにて閉宴となりました。(G組 月岡健一)



高校18回同期会 2015年6月6日 銀座グランドホテル

卒業50年を機に「古希まで待てない同期会パート2」を開催しました。前回会えなかった仲間も駆けつけてくれて、「生きているうちに会えて良かったね!」と半世紀ぶりの再会を喜び合う光景も広がりました。会場には、なつかしい高校時代のスライドも映写され、あっと言う間にあの頃のキャンパスが蘇りました。にぎやかに繰り上げられた集いは、2017年の古希記念同窓会での再会を誓い合い、みんなで肩を組み手をつないで校歌を歌って散会となりました。(E組 中村啓子)



高校24回同期会 2015年8月22日

池袋 1K Tokyo Share Dining

物故者16名への黙祷で開宴し、同窓会から続く勢いに同期会からの出席者の熱気が加わり、2時間の宴は大いに盛り上がりしました。「あれっ誰だっけ?」と首を傾げて胸元に目をやれば卒業写真からスキャンして作成した写真入り名札が…「あーっお前かあ!」40余年の時を超えて一気に記憶が蘇ります。憧れていた相手の変わらぬ(あるいは変わり果てた!)姿に一喜一憂。そんな楽しい時間はあっという間に過ぎ、涙を浮かべて校歌を大合唱。全員の健康と再会を誓って万歳三唱。「井草で過ごした3年間の大きさを再確認した」という声が138人の気持を代弁していました。(B組 大沢一実)



高校31回同期会 2015年8月22日 池袋ホテルメトロポリタン曙

A組幹事の飯島氏の乾杯の音頭で同期会を開宴し、その後、それぞれ歓談へ移りました。卒業時のクラスは勿論、一年の頃のクラスメンバーが集まったり、クラブのメンバーが集まったりと、会場のあちらこちらで歓談の輪が広がり、近況の報告や高校当時の話など、話が盛り上がっていました。宴もたけなわ、皆さん話し足りない様でしたが、時間となり、同窓会委員長でもあるE組田村氏に同窓会の報告を合わせて締めの挨拶を頂き、名残惜しい中、閉会となりました。(B組 沼田純明)



高校37回同期会 2015年8月22日

池袋ホテルメトロポリタン

同窓会の開催後に同ホテル、ペガサスの間に37回生の同期会を開催しました。各クラスから総勢111名の参加者がありました。I組の担任の小川先生もおみえになり、全員楽しいひと時を過ごすことができました。今回は各クラスで幹事を決め、約1年前から準備を始めることができ、学年人数の約1/3が参加することができました。また、当日は出席できなかった同級生についても、連絡先を確認することができ、今後が楽しい結果となりました。連絡はFaceBookによるやり取りがとても有効であったと感じました。(H組 木村礼夫)



クラス会



高校4回E組 2015年11月11日 神楽坂・ラリアンス

遠く京都から50年来連絡がつかなかった方の参加もあり、「井草会報」と幹事さんのお蔭と感謝、感謝で一杯。気負いの年齢も遥に過ぎ、あるがままの話ができ、時には大笑いも。都合で会うことができない方も、必ず近況のご返事をくださって、昭和一粒の律義さは「文化遺産」だと感じました。(二木培江)



高校8回B組 2015年7月7日 銀座ライオン新宿センタービル店

毎年、7月7日、この場所で、昔の美男・美女が再会します。話す声・話し方が学生時代を彷彿させ、60年近い人生がまき戻された感覚です。盛り上がった雰囲気そのまま席を移動しての二次会へ。4時間以上を過ごしても話題が付きず次会を約してお開きとなりました。(小池すみ系)



高校11回A組 2015年8月30日 西荻窪「KimuraKan」

今年は恩師の小田島先生にご出席いただき、先生の米寿のお祝いと合わせたクラス会。先生が素晴らしい足跡を印して来られたことに皆感動。また、我々にも、まだ現役の経営者として社会貢献をしている人、大切なパートナーを亡くされた方など、時の流れを感じました。しかし、一人ひとりのお話を聞くと昔の面影が思い出され、全員参加の2次会も語って、笑って、歌っての楽しい半日を過ごしました。(白水敏夫)



高校15回G組 2015年11月7日 ホテルニューオオタニ

約2年ぶりのクラス会を開催。遠くは、青森、仙台からの参加がありました。乾杯の後、皆で持ち寄った高校時代のスナップ写真を見ながら、大いに盛り上がりました。皆さん若くて(当たり前ですね)女子は、可愛くて素敵でした。その後、それぞれの近況報告や当日不参加だった方の情報等を報告しあいました。後半は、席替え等行いながら高校時代や最近の話題で楽しく過ごし、あっという間の3時間でした。(小泉彰)



高校19回C組 2016年1月24日 レストランLEAF

昨年クラス仲間がガン手術をしたので“激励会”をやろうと声をかけ2013年の同期会以来のミニクラス会を開催しました。突然の連絡でしたが多くの仲間が参加し、高校の修学旅行や25年前のクラス会の若い頃の写真を持ち寄り大変楽しく盛り上がりました。また高校在学中(S39～42年)の出来事、東京オリンピック、ベトナム戦争、ビートルズ来日、おはん、ミニスカート、美濃都都知事等の話題であっという間の3時間でした。(吉澤典世)



高校22回A組 2015年12月12日
スカッパナポリ新宿住友ビル

学校群制度の第1期生で3年生の時には70年安保闘争の学生運動の波が井草高校にまで及び、校舎のロックアウトがあり、その翌年から制服がなくなりました。そんな時期の在学生たちも社会に出て大人になり、何とか生き延びていました。担任の先生の影響か、教職に就いた方がクラス50人の中で1割以上もいました。何十年ぶりであったにも関わらず、皆40数年前に戻ったように楽しくおしゃべりに花を咲かせました。(小林光之)



高校22回G組 2015年9月12日
銀座ライオン池袋西口店

2011年の同窓会後のクラス会以来、4年ぶりのクラス会。定年退職している人、まだ現役で頑張っている人、病に打ち勝った人が集い、旧交を温めました。40数年ぶりに初恋の人に会えた人、旧友に会えた人、健康を分かち合えた人、とても楽しい、充実したクラス会になりました。(千葉遼)



高校25回D組 2015年8月22日
サルヴァトーレ・クオモ池袋東口店

同窓会の記念学年(還暦学年)に合わせて12年ぶりのクラス会を開催。前回をはるかに上回る21名が参加。中には高校卒業以来40数年ぶりの再会もあり、その変貌ぶりで大いに話が盛り上がりました。それでも同級生、思い出話に花が咲き三次会まで宴は続きました。同窓会から参加のメンバーは実に10時間の大宴会、還暦過ぎてもまだまだ若い! (杉浦宏和)



高校29回I組 2015年7月11日 ニジウマル吉祥寺店

担任の故山田稔先生の偲ぶ会を兼ねてクラス会を開催しました。卒業以来ほぼ40年ぶりに参加した人もおり、故人を偲ぶとともに、懐かしい写真を見ながら、それぞれの変わりように驚き、あっという間の3時間でした。皆さん名残惜しく、還暦の年に再会するという約束で散会となりました。(樗木荘太)



高校31回G組 2015年10月4日 獅子亭新宿東口店

2年に1度のクラス会。仕事等で来られなかった人もいますが、いざ開催となると先生を含め25名も集まり、団結力の強さを感じます。年齢も55歳ともなると仕事、離婚、病気と話題もディープです。開宴2時間後、それぞれ2分程度の近況報告をし合い、集合写真を撮影し、関東一本締めで終了。2年後に元気で再会できることを誓い2次会に消えて行った3年G組でした。(藤吉和彦)



剣道部OB/OG会 2016年2月6日 スーパードライ新宿

毎年恒例の剣道部OB会(草流会)新春懇親会を今年も「スーパードライ新宿」で開催。今年はS33年卒の津江先輩を最年長に24名の方の参加を得ました。幹事からの現役との合同稽古会、稽古指導協力などの活動報告、参加者近況報告時には当時の思い出話に掛け合いもあり大いに盛り上がりました。また長野県から遠路参加のS34年卒、伝説の女子部員第一号の谷口先輩からは、ご自宅でのBBQ会のOB会番外編のお誘いが出るなど話題がつかず、あっという間に解散時間となってしまいました。(19G 磯部孝夫)



卓球部OB/OG会 2015年8月29日
井草高校体育館、二次会アオヤギ

一次会は井草高校体育館で現役を交えて団体戦の試合をおこなった。4チームのリーグ戦で1チーム平均10名。1位~3位までには金、銀、銅のメダルを各人に授与した。優勝チームには優勝トロフィーも授与された。二次会は上井草のレストランアオヤギでOB、OGで祝勝会ならびに意見交換会を行った。今年は、部誌の創刊50周年記念ということもあり例年になく盛況の会となった。(21D 植木謙)

OB・OG インタビュー



宮崎 博さん

22回 A 組

国際基督教大学教養学部社会科学科卒業
 神奈川県立高校英語教諭を歴任
 小田原養護学校高等部知的障がい部門教諭
 JICAのシニア海外ボランティアとして活動
 今年2月からサモア独立国に赴任

Q JICA（国際協力機構）のシニア海外ボランティアで活躍だそうですね。

かつての教え子がJICAで活躍しており刺激を受けました。定年退職後も自分の経験を活かし、社会貢献がしたいと思い、「特別支援教育」の枠で志願しました。幸い家族も賛成してくれました。

JICA二本松研修所で2か月間、主にフランス語の訓練を受け「迷宮都市」として世界遺産に登録されているモロッコのフェズに2年間赴任しました。

Q モロッコとはどのような国でしょうか。

モロッコは王政でイスラムの国です。かつてフランスに統治されていたのでフランス語も使われますが、言語としてはアラビア語モロッコ方言の「ダリジャ」が主流です。

朝から町にコーランが響き、ラマダン（日没までの断食）があり、女性はフラと呼ばれるスカーフを巻き、飲酒は原則禁止です。それでも比較的宗教的にはゆるやかで、若者は西欧化した服装でいたし酒類も購入できました。外国人向けレストランでは飲酒もできました。

日本に対してはとても好意的で日本製品は評価が高いです。高価なためあまり所有されてはいませんが。

ISの悪影響でイスラムアレルギーが広がっていますが、基本的にモロッコのイスラム教徒は寛容で優しく親切です。若者は老人をいたわり、男性は女性を守ります。

Q 具体的にどのような活動をしていましたか。

私立の特別支援教育施設の高等部に配属され、生徒と現地スタッフを対象に野菜栽培、織物指導、体育指導を行いました。

モロッコには公立の義務教育校に支援教室はありますが公立の特別支援学校はありません。私立の特別支援学校は託児所的な存在といえるでしょう。

モロッコの私立の学校は公立に比べ給与水準が低く、男性は就労を希望しません。女性のスタッフの多いなか、男性である私は重宝がられました。野菜栽培は農業高校赴任中の知識を活かしました。

フェズは織物、陶芸など伝統工芸の盛んな土地です。織物指導は現地の伝統的な技術に着目し活動しました。JICAの資金で、長さ3m50cmのフェズの織り機を職人さんに交渉して2mに縮小してもらい

「生徒用織り機」として導入し、織物の指導をしました。その他手編みのマフラー、大きなペットボトルを利用したリリアン編みなども指導しました。

織物については事前に指導内容にあると知らされていたので、日本でカルチャーセンターに通い習得しました。クラスに男性は私一人でしたが、目的を話すと女性たちはとても協力してくれ、楽しく学習できました。

Q どんな思いで活動されていましたか。

私の活動目標は「笑顔を引き出す」です。生徒は世界どこでも同じで素直で優しい心を持っています。心を開いて接すれば心を開いてくれ、笑顔を向ければ笑顔が返ってきます。

コミュニケーションはダリジャ、最後にはジェスチャー、日本語まで使って生徒と心を通わせました。生徒一人ひとりの事情に合わせ、就労に結びつくよう指導しました。しかし残念なことに就労率はあまり良くありません。モロッコは大家族制で社会的に弱い立場の人を家族で面倒を見る習慣が根強いからだと思っています。

Q 後輩にメッセージをお願いします。

JICAの青年協力隊、シニア海外ボランティアは意義ある活動です。東日本大震災の時、海外のJICA事務所に多くの地元民から義援金が寄せられました。JICAの地道な草の根レベルでの活動が受け入れられたことの証明といえるでしょう。

若い人たちは海外に出て自分を、日本を、世界を見て新しい道を拓いてほしい。年配の方々は自分の経験を活かして社会貢献をめざしてはいかがでしょうか。世界でも活躍できる場があるかもしれません。





田中 信雄さん

29回B組

千葉大学園芸学部造園学科卒業
イーピーアイ株式会社（設計事務所）入社
栗山造園株式会社、松村園芸株式会社
平成25年12月 樹木医として認定される

Q 樹木医とはどのようなお仕事ですか。

元々は、天然記念物や地域のシンボルとなるような巨樹・古木等の樹勢回復や保護を図るための「ふるさとの樹保全対策事業」としてスタートしました。技術の開発普及と人材育成を図るもので、当初は、公益法人が行う技能審査事業を農林水産大臣が認定するというものでしたが、行財政改革の一環で、平成13年からは民間資格へと移行しています。

以前は、台風等で街路樹や公園等の樹木が倒れ被害がでても、人災とは考えられていませんでしたが、樹木の診断技術の進歩に伴い、管理者の責任が問われるようになってきました。戦後植えられた街路樹などの衰退が顕著になってきており、現在は、倒木等の危険性のある樹木の診断と対処に仕事の重点が移行しているように思います。

Q 樹木医になられた経過と理由を教えてください。

樹木医認定制度を実施していた公益法人に大学の先輩がおり、受験の勧めを断りきれなくなって最初の受験をしました。14年前のことですが、受験を申し込んでわかったのは、試験に合格すれば即、樹木医ではなく、2週間の研修が必要で受講料と宿泊費で結構なお金がかかるということでした。まったく勉強をしないで受験し、この時は不合格でした。

その後転職をし、会社は「お金を出すから取れ」というし、大学受験の息子は「勉強しろ」といってもやらないし、一緒に勉強したら仕方なくやるか？などとも思い、再度受験することにしました。息子が希望の大学に受かってからは、自分が落ちたら恰好がつかないと結構追い詰められた感じにもなり、合格してホッとしました。

Q 樹木医ならではのエピソードはありますか。

エピソードということではないのですが、一昨年、約70年ぶりにデング熱の感染が確認され、大きな話題になりました。代々木公園で採取された蚊でウイルスの保有が確認され、蚊の駆除のため、公園内で薬剤散布が行われました。薬剤を散布すれば、蚊以外の虫等も当然、駆除されてしまいます。さすがに隣接する神宮の森で薬剤散布が行われなかったのは、良識的だったと思います。

植物では、一昨年、青梅市の名所の梅園で、梅がすべて伐採されて話題になりました。これはヨーロッパで戦後に拡大したセイヨウスモモやアンズの病気でしたが、2000年前後にアメリカ・カナダでも確認され、我が国では2009年に青梅市周辺の梅園で確認されました。樹液を吸うアブラムシにより媒介され、駆除するには、口蹄疫や鳥インフルエンザに感染した家畜を殺処分するのと同様、感染した樹木を伐採

することしかありません。

人・物の移動が世界規模で行われ、それまでその地域になかった病気や動植物が持ち込まれると人・植物・生態系に大きな被害をもたらすということは、割と身近な所でも起こっていると感じます。

Q どのような井草生でしたか。

学生運動が沈静化した後の三無主義、四無主義、しらしけ世代といった形容をされた世代です。実際、世間でいわれる程ではなかったと思いますが、そういうポーズを多少とっていたという感じはありました。

1年の時、今の職員室等がある建物は、今よりもだいぶ小さくて、教室のある校舎と2階の渡り廊下でつながっていませんでした。

1階が校長室、職員室等、2階が1-G、放送室、生徒会室、1-H、1-I、3階が図書室といった構成で、この建物には1年3クラスだけで上級生がいませんでした。自分はG組でしたが、本当に自由、気ままという感じで楽しかったです。

生徒の自主性を重んじる校風ということで「自由の井草」というキャッチフレーズがささやかれていました。

「恋愛の井草」というキャッチフレーズも当時ありましたが、これはもはや看板倒れでした。

Q 今後の目標、指針を聞かせてください。

樹木医制度が始まって25年、巨樹・古木の管理には、それらに関わる樹木医の方がすでにいて、新しい樹木医が業務としてかわる機会は多くありません。冒頭でも触れたように街路樹、公園、団地の周りの樹木など身近な樹木が対象になってきています。

都市のヒートアイランド現象の緩和に、街路樹を大きく育てて緑陰を大きくすべきと主張する大学の先生がいらっしゃいます。しかし、実際の現場では、住民の方は「虫が入ってくる」「日が当たらない」「落ち葉が雨どいに詰まる」等々で、伐採してくれたほうがサッパリすると言われることも珍しくありません。

台風や雪の後、必ずといっていい程、折れた枝が道路や公園等に落ちています。樹林の中であれば、昆虫などの生息空間となる位のことで、たいしたことではありませんが、都市部では問題になる場合もあります。管理者とすれば潤沢な予算がなければ、大きく育てることに慎重にならざるを得ないと思います。

樹木医の基本的な考え方は、樹木をより自然に大きく健全に育てるということにあります。今後、望まれる樹木医の役割は、異なる立場の意見の調整役になることのように思われます。



恩師からの便り



井草高でのたくさんの「出会い」

金城 和貞 先生

昭47年卒 24回H組
(昭54年～平3年 保健体育担当)

同窓の皆さまはじめ、井草高校関係の皆さま、ご活躍のことと存じます。

私は、旧職員でもあり、井草高校卒業の同窓生でもあります。井草では、ハンドボール部でした。学園紛争もありましたが、充実した楽しい3年間を過ごしました。

大学時代は、臨海教室やスキー教室、体育祭の手伝い、教育実習など体育科の先生方には大変お世話になりました。大学卒業後は、都立定時制高校に保健体育の教員として就職しました。夜間勤務のため、昼間は週3日、井草で時間講師として3年間授業を担当しました。その後、井草に転勤し、昭和54年から平成3年まで12年間勤務させて頂きました。

高校から合わせると、人生の約3分の1の22年間井草と関わりました。その間、たくさんの経験をさせて頂きました。特に、ハンドボールとスキーは井草に関わったおかげです。

ハンドボールは、40歳まで部OBで組織したチームでプレイしたり、指導者になったのも井草があつてのことです。今でもハンドボールに関わり続けている原点です。

また、長野県湯の丸高原にあった井草の「からまつ山荘」で行われていたスキー教室に参加したのをきっかけに、スキーにも熱中し、指導員として、スキー連盟の役員としてスキーの普及発展に関わってきました。ライフスポーツとして今もスキーを続けています。

さて、井草在職中は、たくさんの方々との出会いがありました。その中でも特に印象深いのは、最初の担任をした昭和55年4月入学の35回生との出会いです。文化祭で、担当の先生から生徒と一緒に怒られたこと、修学旅行での出来事、ハンドボール部が大会で活躍したことなどありました。担任をしていた3年I組は、今でもクラス会に呼んでくれます。特に、同級生同士の結婚披露を兼ねた私の還暦祝いは忘れられません。

同窓の皆さま、関係の皆さま、今後ともよろしく願います。



「ああ井草」

野村 健一 先生

(平11～24年 保健体育担当)

井草を去って、早や4年が過ぎた。この季節になると必ず口ずさむ歌がある。「花びら影深く、八重桜咲きわたり～」井草高校正門付近の満開の桜を思い出しては何となく口から出てしまうのは、私だけだろうか・・・。

井草高校に都合13年間居させてもらった。貴重な経験をした。残念だったのは、在職中に“臨海教室”を無くしてしまった事だ。時代の流れで仕方の無い事なのかもしれないが、継続させる事はできなかった。17年前に赴任した時、当時の校長より「臨海教室をやってくれますネ」と言われたのを、昨日の事のように覚えている。我々と一緒にその時間を共有した生徒は今どうしているのだろうか。今は、どう記憶しているのだろうか。

この3月、教員生活に一応の区切りをつけた。たぶん今年を含めてあと2年程度現場に立つと思うが、やはり井草高校は井草高校であり続けて欲しいと切に願っている。改変が叫ばれる中、不変の事があってもイイのではないかなと思う。



「自主・自由・自律」の井草、「出逢い」の井草、永遠なれ。

井草高校応援団員の元教員の戯言でした。



スケッチ 14回G組 丸山 肇さん

キャンパスニュース

10年目を迎えた「IGUSA 夢 PROJECT」

井草高校 進路指導部 武藤 亮

高校の先の、さらにその先を見据えた井草高校の進路指導「IGUSA 夢 PROJECT」も今年で10年目を迎えました。国公立や難関私大にチャレンジする生徒も増え、年々進学実績が向上しています。今春の入試も「IGUSA 夢 PROJECT」始まって以来の好結果となりました。自主・自由・自律を旗印に、「IGUSA 夢 PROJECT」はさらに進化して行きます。卒業して10年、30歳の自分をイメージできる進路指導、これからも井草高校の進路指導に期待してください。

2016年進路状況・合格状況

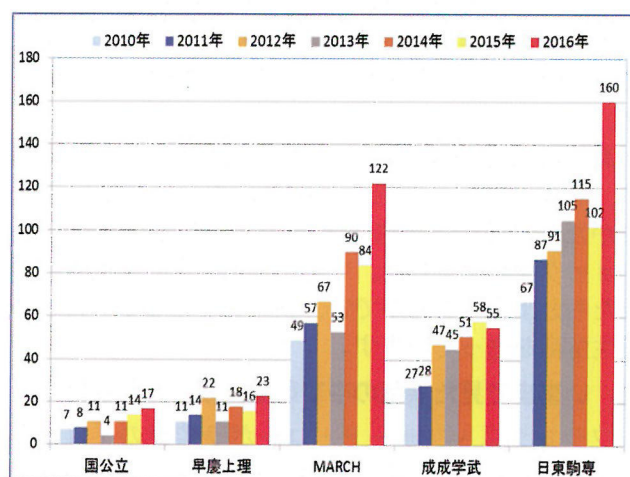
国公立大学

埼玉大学5 首都大学東京2 茨城大学1 千葉大学1
東京海洋大学1 東京学芸大学1 横浜国立大学1 京都府立大学1 埼玉県立大学1 静岡大学1 筑波大学1
電気通信大学1

私立大学

東洋大学83 日本大学51 法政大学49 明治大学26 立教大学17 青山学院大学16 成城大学15 武蔵大学15
亜細亜大学14 学習院大学14 専修大学14 中央大学14
武蔵野大学14 駒澤大学12 東京経済大学12 成蹊大学11
武蔵野美術大学10 早稲田大学10 芝浦工業大学9
帝京大学9 東京工科大学9 東京電機大学9 明治学院大学9
目白大学9 大妻女子大学8 大東文化大学8
帝京平成大学8 東京農業大学8 東京理科大学8 獨協大学8
創価大学7 東京家政大学7 東京都市大学7
杏林大学6 國学院大学6 実践女子大学6 昭和女子大学6
東海大学6 工学院大学5 国士舘大学5 城西大学5
玉川大学5 多摩美術大学5 東京薬科大学5 日本女子大学5
文教大学5 慶応義塾大学4 跡見学園女子大学3
共立女子大学3 女子栄養大学3 大正大学3 東京女子大学3
明星大学3 学習院女子大学2 近畿大学2 埼玉工業大学2
西武文理大学2 拓殖大学2 中京大学2 津田塾大学2
東京医療保健大学2 東邦大学2 日本獣医生命科学大学2
フェリス学院大学2 麻布大学1 関西大学1 関西学院大学1
関東学院大学1 駒沢女子大学1 産業能率大学1 十文字学園女子大学1
上智大学1 女子美術大学1 白梅学園大学1 清泉女子大学1
千葉科学大学1 千葉工業大学1 帝京科学大学1 東京医科大学1
東京女子医科大学1 東京福祉大学1 東洋英和女学院大学1
日本医療科学大学1 日本赤十字看護大学1 日本薬科大学1
佛教大学1 文化学園大学1 文京学院大学1 星薬科大学1
明治薬科大学1 横浜薬科大学1 酪農学園大学1 立正大学1 立命館大学1
和光大学1 Taylor's University 1

7年間の合格者推移(現浪合計)



早慶上理：早稲田、慶応義塾、上智、東京理科

MARCH：明治、青山学院、立教、中央、法政

成成学武：成蹊、成城、学習院、武蔵

日東駒専：日本、東洋、駒澤、専修

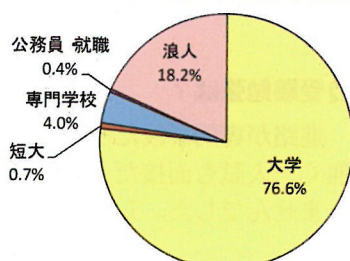
先生の異動

転 出		転 入	
校 長	宮本 信之	校 長	有明 得良人
国 語	小寺 克	国 語	古屋 明子
社 会	山田 美保	国 語	福永 彩生
数 学	松本 良男	社 会	堀内 ひろ子
数 学	在原 有紀	社 会	有田 義人
理 科	輿水 文三	数 学	川村 哲平
理 科	高橋 洋一	数 学	福井 宏昌
理 科	矢崎 真衣	理 科	木原 駿
芸 術	阿部 真琴	理 科	泉水 裕二
英 語	今村 和世	理 科	久永 英二
英 語	杉山 朱美	英 語	大山 秀海
英 語	中島 修吾	英 語	井上 学
保 健	福井 敬子	英 語	石川 俊幸
経営企画室	滝澤 豊三	家 庭	田部井 智世
経営企画室	伊井 淳子	保 健	森本 乃理子
		化 学	和光 宏倫
		経営企画室	辰巳 晃司
		経営企画室	佐藤 久栄

2016年3月卒業生進路状況

短期大学2名

専門学校11名



フレッシュ卒業生に聞きました！

昨年3月に卒業した渡辺大士さんと今年3月に卒業したばかりの鈴木竜路さん、滝川菜緒さんにインタビューさせていただきました。渡辺さんとは、上石神井駅近くの喫茶店でお話を伺いました。鈴木さんと滝川さんとはメールのやり取りで質問に答えていただきました。

渡 辺 大 士 さん (H27年卒67回G組)

日本大学芸術学部映画学科 2年



Q. 現在の学生生活は？

所沢にあるキャンパスへ自宅から通っています。B.D.C.(演劇映画放送研究会)というサークルへ入っているの、新学期を迎えて新入生の勧誘に忙しいです。

高校時代は周りの友達よりは映画を観ていたものの、映画学科の学友たちの中にはもっとすごい人たちがたくさんいて、ちょっとめげてしまうくらいのショックを受けました。でも、映画好きの個性的な仲間たちと出会うことができ、刺激を受けながら楽しい学生生活を送っています。

Q. いままで見た映画の中で印象に残った作品は？

フランス・フォード・コッポラ監督の「ゴッドファーザー」です。第1作のマーロン・ブランドと第2作のロバート・デニロがとてまかっくて、存在感に圧倒されました。マフィアの話なんですけど、深くて濃い家族愛にすごく感動しました。

Q. 進路を選択した動機は？

元々映像を見るのは好きでしたが、高校2年の文化祭(井草祭)でクラスの企画として映像を制作することになり、その作品がなかなか評判も良く、クラス仲間と共にかかなり盛り上がりました。それがきっかけとなり、映像制作に興味を持ち、もっとしっかり学びたいと思い、この大学を受験しました。

Q. 受験勉強は大変でしたか？

高校時代は、部活(サッカー部)と文化祭に熱中していて、学業の方がかなりおろそかになっていました。文化祭で映像制作に関わり、進路を意識した時にも選択肢の中に大学受験は入っていないくらいでした。でも、担任の先生や家族のアドバイスもあり、かなり遅めの決断でしたが、2年生の10月に大学受験を決めました。そして、翌年の3月から塾通いを始めましたが、このままの成績では留年になりそうで、卒業も危なくなる状況でしたので、受験勉強というよりは成績を上げるために必死になりました。そのおかげで、何とか進路に沿った大学へ合格することができました。

Q. 将来の夢や希望は？

やはり大学で勉強していることを活かしたいので、将来は映像の制作や企画に関わる仕事をしたいなと思っています。

Q. 井草の高校生活での思い出は？

一番の思い出は、進路を決めたきっかけになった高2の文化祭での映像制作ですね。それとシンガポールへの修学旅行も思い出に残っていますが、とにかく仲間たちとホテルの部屋で一緒に過ごせるのが楽しかったの、シンガポールの印象はなぜか二の次になっています。

Q. 井草の後輩たちへエールを！

井草の自由な校風の中で高校生活を楽しんでほしいと思いますが、自由だからこそ自分の責任で判断と決断をしなければいけないということも忘れないでください。高校時代は、いろいろな意味で揺れたり迷ったりしますが、中途半端でなく揺れるだけ揺れて、迷うだけ迷って先へ進む決断をしてほしいなと思います。

滝 川 菜 緒 さん (H28年卒68回C組)

阿佐ヶ谷美術専門学校



Q 現在の学生生活は？

今春4月に入学した専門学校の基礎学年で勉強しています。美術系の専門学校なので、個性的な友達が多く、日々刺激をもらっています。授業では他の人の作品を見たり、先生方から講評を頂いたり、充実した時間を過ごしていて、とても楽しいです。

Q 進路を決めたのは？

小学生の頃からずっと絵を描いたり何かを作ることがとても好きだったので、漠然とそれを仕事にしたいと考えていました。先生方に話を聞き、阿佐ヶ谷美術専門学校の校風や授業内容に惹かれ、進路を決めました。

Q 受験勉強は？

進路が専門学校だったので、受験勉強というものがない、入試も面接だったので、苦労した点はあまりありませんでした。しかし、井草高校は進学する人が多

く、周りの友達がみんな勉強に熱心になっている中で過ごすことに不安を感じることはありました。

Q 将来の夢・希望は？

将来なりたい職業はまだ探している途中ではありませんが、どんな職業だとしても、見た人に影響を与えられる作品が作れる人になりたいと思っています。私がい러んな作品から感動を受け、「自分もこんな作品を作れるようになりたい」と思えたように、自分の知らない誰かにもそんなふうにしてもらえるようになりたいです。

Q 高校生活での思い出は？

高校生活のほとんどをダンス部で過ごしました。高校1年の春、援団練習の時に3年生のダンス部の先輩が踊っている姿を見て感動し、思わず泣いてしまいました。自分もこんなにかっこよく踊れるようになりたいと思い、ダンス部に入部しました。部活を辞めたいと思ったこともありましたが、そんな時にその先輩のことを思い出すと、まだまだ頑張れると思えました。部員のみんなとぶつかったり、後輩にどうやって接すればいいか悩むことも沢山あり、後悔することもありましたが、みんなと踊ることの楽しさを知ることができたダンス部での思い出は、これからの人生でも忘れることは無いと思います。

Q 後輩へエールを！

井草高校で過ごせる時間は限られています。卒業してから、あの時もっと頑張ればよかったな、もっと楽しんでおけばよかったなと後悔することがありました。勉強、部活、友情、恋愛、井草高校はどれも充実させることのできる学校だと思います。今できることをたくさん見つけて、学校生活を最後まで楽しんでほしいです！

鈴木 竜 路 さん (H28年卒68回G組)

東洋大学社会学部
メディアコミュニケーション学科1年



Q. 現在の学生生活の様子は？

春から通い始めた大学は、基本的には日曜日以外は授業があり、ゴールデンウィークも休みがありません。それぞれ時間割を自分で決めるので、全休が日曜日含め週3日ある人もいれば、全休が日曜日のみで週1の人もいます。よって帰れる時間も毎日異なります。授業時間は90分と長いのですが、興味がある学問なので、とても早く感じます。学校に、サークルに、バイトに、毎日充実し楽しく過ごしています。

Q. 進路選択の動機は？

メディア系の学問に興味があり、将来そちらの方向

の職業に就きたいと思っていたので、高校3年生の夏に大学のオープンキャンパスに行きメディアコミュニケーション学科に惹かれて、ここの大学を受験しようと決めました。学食が日本一とも謳われていて、とてもおいしく、キャンパスが綺麗なことも決め手の一つになりました。

Q. 受験勉強で苦労したことは？

とても大変でした。2年生の2月に行ったセンター試験体験受験で、国語・英語・日本史が約45%しか取れませんでした。英語に至っては筆記200点中64点しか取れなくて、自分でもびっくりしたのを覚えています(笑)それでもMARCHに行きたいと心を決めて勉強を始めました。

夏休みに必死に勉強したおかげで、河合塾の全統記述模試の国語で偏差値67を出せた時は本当に嬉しかったです！しかし、結果はMARCHには落ちてしまい、センター試験で合格した滑り止めの東洋大学に進学が決まった時は正直悔しかったです。大学によって問題の癖が異なるのに、過去問研究をあまりしていなかったのが大きな要因だったと思っています。勉強すれば確実に成績は伸びます。受験生の方は最後まで諦めずにがんばってください！

Q. 将来の夢や希望は？

記者になって正確な情報を世界や日本に伝えることです。情報化社会の現代で、人は事あるごとに、溢れかえっている情報に惑わされ、間違った情報を信じたりすることもあり、大変な時代です。その中で正しい情報を伝えられるような記者になりたいです。

あまり現実的ではないんですが、俳優とかドラマーとかにも憧れますね(笑)

Q. 井草高校生活で印象に残っていることは？

印象に残っているのは、3年の体育祭と文化祭です！体育祭では応援団の副団長を務め、「フレフレ、応援部門」で2位になることが出来ました。8.6秒バズーカーの格好をしたのもいい思い出です(笑)

文化祭では有志制作の映画「スクールカースト」で3人の主演の内の1人として出演しました。監督の脚本のおかげで、観客から盛大な笑いを取れて幸せでした(笑)ファッションショーにも出場でき最高の日になりました！

クラブはバドミントン部に所属していました。特に2年生の時の合宿はとてもきつかったですが、能力的にも人間的にも成長出来た合宿でした。本当に人に恵まれた三年間だったと思います！

Q. 後輩へのアドバイスやエールを

井草は、自由で行事が盛んでとてもいい高校です。時間はあっという間で気づかないうちに大学受験、そして卒業です。どんどん新しいことをしてください！積極的に動いてください！最高の高校生活にしてくださいね！

井草高校と同窓会をつなぐ懸け橋

広報委員会
八巻孝夫委員長 (18A)

広報委員長の八巻さんは大学卒業後に大手出版社へ就職。数々の子供向け雑誌を大ヒットさせ、さらに大人向けの歴史美術関係の書籍など様々な本の編集にかかわってこられたとのこと。ライフワークの中世城郭（戦国時代の城）研究では第一人者として知られ、現在も中世城郭研究会代表、カルチャーセンターの講師などで活躍中です。2年前には「タモリ倶楽部」にも出演されたとか。そんな大変お忙しい八巻委員長に「広報委員会」について石神井公園駅近くの喫茶店で話を伺いました。

■八巻さんの井草高校時代はどんな風に過ごしていらしたのですか？

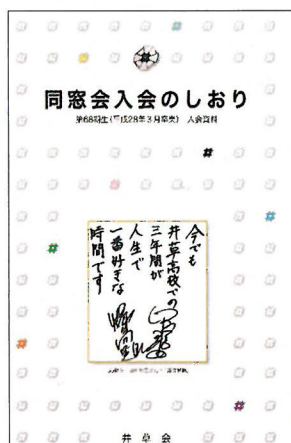
格闘技が大好きだったので、最初は柔道部に入ったのだけど、私は身体があまり大きくなかった。他の部員は身体の大きな人がいっぱいいてね、かなわないなと思って辞めてしまいました。それからはミステリー小説と映画かな。古い映画は映画館でやっていなかったの、国立のフィルムセンターというところにわざわざ行って観ていました。井草高校は何をやってもいい自由な雰囲気があり、好きでした。

■ところで、広報委員会ってどんなことをやっているのですか？

広報といっても、一般の会社などの「広報」とは違いますね。広報委員会は、井草高校と同窓会をつなぐ橋渡しの仕事を中心です。同窓会として、何か学校に寄附しようとかの相談とか。また、新入会員への入会ガイダンスもやっています。そのほか、母校支援、他校の同窓会との交流をはじめとする外部への広報活動、講演会・公開講座の開催なども行っています。

■広報委員会は井草高校と同窓会の「懸け橋」なんですね。新入会員のガイダンスとはどういうものですか？

井草高校を卒業し、新たに同窓会に入る方への「井草会」の説明です。その説明のために「同窓会入会のしおり」(写真)を毎年作成しています。井草会の紹介や各界で活躍している先輩たちの紹介、学校生活や同窓会の写真などで構成されています。編集やデザイン、写真、イラストなど、すべて同窓生によって作成しています。イラストは平成26年卒(66回生)の木原さんに書いていただきました。来年からは、在校生に同窓会への



「爆笑問題」の田中裕二さん(35回生)のメッセージが表紙に掲載された「同窓会入会のしおり」

理解を深めてもらうために、新1年生にも配布したいと考えています。

■母校支援はどんなことをやっているのですか？

一例としては井草高校で実施している国際理解教育プロジェクトの支援があります。井草高校では米国・ワシントンにあるシドウェル・フレンズ・ハイスクールなどからの生徒を受け入れ、国際交流を行っています。同窓会としては米国高校生へ華道・茶道・紙漉きなどの体験を通して、日本の伝統文化の紹介することや、当日の引率、同窓生による通訳の派遣などの支援をしています。

■八巻さんにとって同窓会の魅力ってなんですか？

井草高校の同窓会は他の都立高校の同窓会よりもずっと盛り上がっているようです。2年毎に開催される「同窓会」のイベントにも多くの同窓生が集まります。私の井草高校の同期で集まる「石神井会」という「石神井公園近くで飲む会」(笑)を、時々やっています。「石神井会」には高校時代にはクラスが違っていてもお互いほとんど話したことなかった同期も多く集まります。会社を辞めたりすると、なかなか新しい友達というのは作りにくいものですが、「井草」というつながりだけですぐに仲良くなれる、それが「井草高校」ですね。

OB同士の交友も楽しいですから、同窓会に参加していない人はどうぞこれから参加してほしいです。新しい友達ができますよ。また、若い人にもどんどん参加してほしいと思います。

ところで、もし時間があったらこれから飲みに行かない？

■ぜひ(笑)。

インタビューの後、八巻さんに誘われて、近くの居酒屋へ。世代を越え、楽しいお話で日本酒が進みました。八巻さんのおっしゃるとおり「井草会っていい」と実感したひと時でした。(35F 新妻成一)



クラブ活動めぐり

最近の井草高校では、進学実績だけでなく、各部活動でも活躍が目立ちます。書道部やダンス部などの活躍はご存知の方も多いと思いますが、今回紹介する演劇部も地区大会を制して中央大会へ進むなどの実績があります。また、剣道部をはじめとする運動部では、支部大会、地区大会では上位進出を果たし、後一步で都大会へ進もうということも少なくありません。

演 劇 部

今年度は1年男子2人・女子4人、2年男子3人・女子3人、3年女子3人の計15人で活動をしています。

活動内容は、ストレッチ・発声・早口言葉などをした後、各公演に向けての練習をしています。公演は主に校内ですが、幼稚園で劇をやらせていただいたり、今年は大会に出るための練習もしています。

演劇部はキャストとスタッフに分かれて活動をする事が多いです。キャストは実際に舞台に出るため、演技の練習をします。演技については部員同士でアドバイスし合って、より良いものを作り上げようと努力しています。スタッフは主に小道具・背景を作ります。劇の内容によって作る量が違うので、忙しさが変わることもあります。また、公演当日には、音響・照明も担当してもらっています。



演劇は総合芸術と呼ばれることもあるそうです。実際に演劇部に入って良くわかりました。キャストとスタッフの思いや息が合わなければ成功しませんし、演技・音響・照明のどれか一つでも欠けてしまうと舞台は完成しません。演劇部には全員で作り上げる楽しさがあります。これからも部員全員でいい劇を作っていきたいと思っています。

(2D 濱崎 一香)

剣 道 部

現在は、3年生男子5人・女子2人、2年生男子4人・女子2人、1年生は男子が4人入部し、計17人で、月・水・金・土に剣道場で稽古に励んでいます。



今年度からは、保谷高校から転入された理科の和光宏倫先生(6段)が顧問になり、指導していただけることになりました。今年度の目標は、支部予選大会を勝ち上がり、都大会に出場することです。

また、年に2回ほど、昭和48年卒業の藤村則夫先輩を中心に稽古会を開催し、多くの卒業生と現役生と一緒に稽古をして、ご指導いただいています。前回は4月2日(土)に開催しました。先輩方より丁寧な稽古やアドバイスをいただけて現役生の励みになっています。これからも、卒業生の皆様に応援していただけたら幸いです。

(部長 中山 福啓)



4月2日に開催されたOBとの稽古会



アンケート結果の報告



昨年の会報48号で、年会費の還元ならびに会員の声を掲載する情報欄の認知度についてアンケートを実施しました。貴重なご意見を下さった方たちの回答を集約した結果と今後の検討事項を報告します。

●アンケートの目的

1. 同窓会活動が会員の年会費により維持されていることを認識してもらい、会費納入率の向上を図る。
2. 年会費の還元と会員の声の掲載欄があることについて、会員がどの程度知っているのかを把握する。

●アンケートの回収結果

送付数：15,874部 回収数：35通

1. 年会費の還元について

- ① 援助金制度があることを60%が知らないとの回答があるので、今後も積極的に会員への周知を図る必要がある。
- ② 援助金制度について知っている方の54%が今後利用したいと回答し、知らなかった方も55%が今後利用したいと回答しているので、より多くの会員が利用しやすい手続きや対応を検討していきたい。

2. 会員の声を載せる情報欄について

情報欄のあることを知らない方が46%で、情報欄があることを知っている方で利用したことのある方は18名中5名28%と大変低い利用状況だったので、利用する側の利便性等を工夫していく必要がある。

アンケート結果

1. 年会費の還元について

知っている	13	知らない	22
-------	----	------	----

A. クラス会等で援助金を受けたことは？

ある	ない
9	4

B. 援助金制度の利用について

利用したことがある	9	利用したことがない	26
-----------	---	-----------	----

今後援助金制度を利用したいですか

利用したい	利用しない	利用したい	利用しない
7	0	12	10

2. 会員の声を載せる情報欄について

知っている	18	知らない	16
-------	----	------	----

知っている人で利用したことは？

あり	5	なし	13
----	---	----	----

実際に使用した人の内訳 (重複利用あり)	会費納入時の摘要欄	2
	住所変更届の連絡欄	4
	インターネットの通信欄	0

情報欄を知らない方のその他のご意見

- ・メールとか井草高校のwebからOB欄を作成し見られるようにしたらどうか。
- ・卒業年度ごとに人選し、思い出などを載せたらどうか？
- ・年会費払込票の通信欄に「メモ的な情報発信可」を本文に表示するとよい。
- ・一言通信というのを作って、恩師に限らず一般会員の近況報告を井草会報に乗せたら面白いと思います。
- ・一度利用してみたい。

井草会援助金制度のご案内

井草会では、同期会、クラス会、OB・OG会等の開催に対して援助金制度を設けていますので、どうぞご利用ください。

援助金は、30名以上の同期会、15名以上(65歳以上は10名以上)のOB・OG会やクラス会に対して給付されます。

援助額は、千円/人ですが、クラス会は3万円、その他の会は5万円を上限とし、年に1回限りの申請とさせていただきます。ただし2年連続しての申請はご遠慮ください。

ハガキかFAX、または井草会ホームページの援助金事前申請用紙に会合名・目的・参加予定人数・開催予定日・幹事名(卒年・組)を明記し、必ず開催日の1週間前までに申請してください。

事前申請の受付終了後に、担当者よりその後の手続きの詳細をお知らせいたします。

この制度は、会員の年会費によって賄われています。年会費の納入に、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ・申し込み先】

井草会同窓会委員会 〒177-0044 東京都練馬区上石神井2-2-43 都立井草高校内
TEL/FAX 0120-066-193 (受付時間：平日9時～17時) メールアドレス igusa@igusakai.org

幹事総会報告

5月22日（日）、平成28年度定時幹事総会が母校視聴覚室で開催されました。当日は39名の出席（委任状351名）により必要定足数50名を満し、総会が成立しました。

月岡会長より「今年は隔年開催の同窓会がない年だが、互いに協力して活発に各委員会活動を進めていただきたい」との挨拶がありました。

学校側からは、4月に着任され、来賓としてご出席いただいた有明校長先生より「同窓生の方々が、卒業後も母校に愛着を持っていることは素晴らしい。生徒たちにも井草生であることを誇りに思ってもらいたいと伝えている。生徒が入学したい学校、保護者が入学させたい学校、教職員が勤めたいと思う良い学校の3条件を満たす学校を目標にしたい」とのご挨拶をいただきました。続いて、小高副校長先生、吉岡PTA副会長より母校支援の一環として寄贈したテントと新入生へ贈った校章に対するお礼の言葉をいただきました。

議事については、平成27年度の事業報告・決算報告に続き、平成28年度の事業計画・予算案が審議され、いずれも全会一致で承認されました。最後に平成28・29年度役員・理事改選で承認された植木新会長より、同窓会の縦のつながりをより深めていきたいとの挨拶があり、無事閉会しました。

新役員紹介（平成28・29年度役員）

会長 植木 謙 21D ○	広報 作田 豊彦 15F
副会長 樽木 莊太 29I ○	磯邊 文雄 18B ○
田村 光孝 31E	沖野 一則 28F
事務局 中村 啓子 18E ○	新井 信晶 30G
鎌形 香代子 27F ○	伊奈 月岡 健一 17G ○
月岡 健一 17G	岩崎 静枝 30H ○
大西 久江 5E	井上 晴夫 24D
中井 淑子 7C	会報 鹿子嶋 早苗 22A ○
新井 雅晴 13D ○	遠矢 良隆 6A
採田 邦子 29F	中井 淑子 7C ○
岡部 隆行 13E	瀬尾 行弘 8B
本田 英俊 16B	新西 田雅 晴 13D
祝 裕太郎 16G	西田 実 17B ○
安田 忠 21G	中村 啓子 18E
佐藤 治子 高女1	新妻 成一 35F
渡辺 旭 2B	同窓会 田村 光孝 31E ○
須子 美津代 3A	採田 邦子 29F ○
山口 和子 3A	中村 啓子 18E
金沢 美保子 3B	大久保 みつ江 18F
伊集院 直子 30B	安田 忠 21G
日野 純子 24H	田中 信雄 29B
堀井 祐樹 62F	五十嵐 恵理子 31B
会計 村上 俊雄 25E ○	幡野 佐 34I
藤尾 智子 25I ○	加藤 康正 33C
監事 遠矢 良隆 6A ○	難波 俊樹 37G
久米 浩一 26D ○	日下 智博 37D
広報 八巻 孝夫 18A ○	林 有紀子 37B
原 京 14G ○	宇都木 夏也 37C
遠矢 良隆 6A	西野 幸一 38B
瀬尾 行弘 8B	茂木 祥子 38E
中村 福代 14G	高村 一恵 38G
瀬戸山 邦二郎 15D	

○印は常任理事会メンバー

平成27年度決算・28年度予算

収 入		(単位：円)		
項 目	H27年度予算	H27年度決算	H28年度予算	
繰 越 金	1,885,944	1,885,944	1,891,403	
入 会 金	960,000	960,000	992,000	
会 費 収 入	3,000,000	3,006,000	3,000,000	
寄 付 収 入	400,000	579,000	500,000	
同 窓 会 参 加 費	2,900,000	3,434,000	0	
雑 収 入	10,000	23,124	20,000	
計	9,155,944	9,888,068	6,403,403	

支 出		(単位：円)		
項 目	H27年度予算	H27年度決算	H28年度予算	
会 報 委 員 会 費	2,500,000	2,196,902	2,450,000	
会 報 通 信 費	1,200,000	1,097,986	1,200,000	
会 報 発 送 代 行 費	800,000	653,130	700,000	
会 報 等 印 刷 費	400,000	406,737	450,000	
委 員 会 活 動 費	100,000	39,049	100,000	
事 業 委 員 会 費	530,000	345,373	0	
井 草 祭 参 加 費	100,000	44,873	0	
委 員 会 活 動 費	100,000	500	0	
クラブ推進分科会活動費	30,000	0	0	
井 草 高 校 助 成 金	300,000	300,000	0	
同 窓 会 委 員 会 費	4,500,000	4,165,364	900,000	
クラス会等援助金	600,000	518,000	700,000	
委 員 会 活 動 費	100,000	5,604	200,000	
同 窓 会 開 催 費 用	3,400,000	3,356,282	0	
同窓会費振込用紙印刷代	350,000	241,558	0	
同窓会費振込手数料	50,000	43,920	0	
広 報 委 員 会 費	300,000	204,127	400,000	
インターネット委員会費	100,000	51,494	200,000	
事 務 担 当 費	930,864	1,030,001	1,550,864	
活 動 費	700,000	584,898	700,000	
井 草 高 校 助 成 金	0	0	300,000	
年会費振込用紙印刷代	350,000	279,829	350,000	
年会費振込手数料	180,000	164,410	200,000	
入会金振込手数料	864	864	864	
会 計 担 当	20,000	3,404	20,000	
事務所開設準備金	0	0	0	
予 備 費	275,080	0	882,539	
次 年 度 繰 越		1,891,403		
計	9,155,944	9,888,068	6,403,403	

財産目録

(平成28年3月31日現在) 単位:円

名簿積立金	700,000
井草会事務所開設準備金	15,500,000



母校に寄贈したテント

井草会掲示板

1 井草祭へのお誘い

開催日時：9月10日（土）・11日（日） 10:00～15:00

井草会は今年も井草祭へ参加し、歓談の席を用意して同窓生の皆さまのお越しをお待ちしています。この機会に、なつかしいキャンパスへ足を運んでいただき、伝統ある井草の校風を脈々と受け継いでいる現役高校生たちの作品やパフォーマンスの数々を楽しんでください!!



2 27年度一般寄付金寄付者名簿 平成28年3月31日現在

下記の方々から貴重なご寄付をいただきました。有効につかわせていただきます。ありがとうございました。

(敬称略、単位：千円)

恩 師	故・安澤雅子	30	高校12	細谷 春來	1	高校19	穴戸 文男	3	高校30	山崎 信彦	1
高女1	末永 京子	10	高校13	清水 健司	3		川勝 文雄	3		大場 肇	3
高女2	土手千恵子	3		松本 敏子	3	高校20	野崎 暁	3	高校31	滝川 直	10
高女3	辻 タケ子	3		富岡 和子	8		本山 和夫	18		藤吉 和彦	2
高校4	中村 京子	3		岡部 隆行	3		村田 直樹	20	高校32	松浦 昭浩	3
	河上喜美江	3		13回生幹事有志	60		大山 吉久	3		藤川 由美	1
	間藤 道子	3	高校14	木村 利行	8		田中 英明	3		伊藤 和正	7
高校5	野澤 ユキ	3		近藤 忠生	1	高校21	高橋 元子	3	高校33	岡田 哲郎	1
	大西 久江	3		松本 洋子	3		植木 謙	5		安達 亜紀	8
高校6	荒井 淑子	3		林 健一	3		宮本 静代	10		三澤 秀樹	10
高校7	重廣 大樹	5		平塚 元一	10	高校22	戸倉 賢二	8	高校34	島田 隆司	3
	渡辺きさ子	8		斎藤 靖子	3	高校23	田中 隆枝	3		高野 郁人	1
高校8	瀬尾 行弘	13	高校15	今井千恵子	3		守村 卓	3	高校37	山崎 潤	1
	田畑 淑子	3		堺 公子	3		山下 昭夫	1		常谷 邦彦	1
高校9	山口 直子	3		川添 洋子	3	高校24	遠藤 武司	1		常谷 澄香	1
	渡辺 正義	8		三井 康子	3	高校25	小池真理子	3	高校38	山崎真由美	1
	木村 忠正	8		唐木 保之	8	高校26	杉野 俊哉	1		菊地 寿枝	1
高校10	関口 素子	1		作田 豊彦	3	高校27	仰木 明	3		茂木 祥子	3
	柴山 義朗	8		小泉 彰	3		青木 清志	8		森田 紀子	3
高校11	故・加藤瑛子	10		小野 節子	3		町田 秀彦	3	高校39	川崎 孝	10
高校12	尾崎 政雄	3	高校16	伊藤 三枝	1		伊藤 立実	30	高校41	匿 名	3
	細野 恭代	3		匿 名	30	高校28	長崎 正彦	1		吉浦 和孝	3
	神保 捷介	3	高校17	月岡 健一	3		松谷 雅子	1	高校49	米川 輝	3
	鈴木三津子	3	高校18	千葉 優子	3	高校30	伊集院直子	3	高校51	葛城 英彦	3
	内藤千与孝	1	高校19	大谷 吉史	10		藤森 理	3	高校54	森田 正徳	1
	中林 保彦	3		高橋 勉	3		新井 信晶	10			

寄付者合計103名 569,000円

恩師の訃報

安澤（糠塚）雅子 先生

平成27年 5月 4日 逝去（S20～24年在職 家庭科）

白土 わか 先生

平成27年11月26日 逝去（S19～20年在職 国語）

山田 稔 先生

平成27年 5月25日 逝去（S40～53年在職 英語）

編集後記

厳しいスケジュールの中、完成させました49号をお届けします。若い同窓生が興味を持ってくれるような、そしてミドル、シニアの同窓生が良き思い出を懐かしんでいただけるような紙面造りを心掛けました。

母校井草高校の絆を深めるため本会報をお読みいただければ幸いです。（鹿子嶋早苗）

井草会事務局：177-0044 練馬区上石神井2-2-43 井草高校内

TEL&FAX 0120-066-193（受付時間 平日9時～17時）

郵便為替：00120-4-84359 ホームページ：<http://www.igusakai.org>

編集委員：遠矢良隆(6A) 中井淑子(7C) 瀬尾 行弘(8B) 新井雅晴(13D) 西田実(17B) 中村啓子(18E) 植木謙(21D) 鹿子嶋早苗(22A) 新妻成一(35F)